

49:13 これが愚か者の道。彼らに従う者もその口のことばを喜ぶ。セラ  
 49:14 彼らは羊のようによみに定められ死が彼らの羊飼いとなる。朝には直ぐな者たちが彼らを支配する。彼らの形はなくなりよみがその住む所となる。  
 49:15 しかし神は私のたましいを贖い出しよみの手から私を奪い返してください。セラ  
 49:16 恐れるな。人が富を得てもその人の家の栄誉が増し加わっても。  
 49:17 人は死ぬとき何一つ持って行くことはできずその栄誉もその人を追って下ることはない。  
 49:18 たとえ人が自分自身を生きている間に祝福できてもあなたには物事がうまく行っていると人々があなたをほめたたえても。  
 49:19 そのたましいは代々の先祖のところに行く。そこでは永久に光を見ることはない。  
 49:20 人は栄華のうちにあっても悟ることがなければ滅び失せる獣に等しい。

「死が彼らの羊飼いとなる」という彼らとは、財産に望みを置く人々のことです。財産があるのがいないというのではなく、はかないものに望みを置いて安心してしまい、主の恵を受け損なっているなら、それが問題なのです。  
 富む者も乏しい者も、その中間の者も（これが一番多いでしょう）<sup>16</sup> 節以降を味わいつつ、日ごとの糧を与えてくださいと、謙遜に祈りつつ、主の御心になかった財の用い方をしましよ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

